

(社) 土木学会 調査研究部門
主査理事 阪田 憲次 殿

[推薦者]
地盤工学委員会
委員長 関口秀雄

平成19年度「重点研究課題(研究助成金)」申請書

代表研究者名： 後藤聡(山梨大学)(参画委員数：合計 25名)
(所属機関、役職、年齢を併記のこと)

研究課題名： 新潟県中越地震による「土砂災害学習マップ」の作成

研究の体制：(所属機関、役職、年齢を併記のこと)

地盤工学委員会斜面工学研究小委員会(委員長：後藤聡、副委員長：稲垣秀輝)のメンバーが中心となり、研究を実施する。幹事委員(7名)は以下のとおりである。

稲垣秀輝((株)環境地質)、上野将司(応用地質(株))
太田英将((有)太田ジオリサーチ)、大野博之(長崎大学)
櫻井正明((財)林業土木コンサルツ技術研究所)
佐々木寧(埼玉大学)、中野裕司(中野緑化工技術研究所)

現地調査に参加した以下の委員(17名)も研究に参画する。

青木正雄(日本大学 生物資源科学部)、伊藤和也((独)労働安全衛生総合研究所)、
岩佐直人(日鐵住金建材(株))、大石哲也((独)土木研究所)、小川紀一郎(アジア航測(株))、
釜井俊孝(京都大学 防災研究所)、佐々木靖人((独)土木研究所)、鈴木素之(山口大学)、
田村俊和(立正大学)、外狩麻子(東日本旅客鉄道(株))、
中濃耕司(砂防エンジニアリング(株))、中村洋介(立正大学)、
西川直志((株)東建ジオテック)、野田龍((財)林業土木施設研究所)、
八村智明((財)日本環境衛生センター)、平田文(日特建設(株))、
向谷光彦(高松工業高等専門学校)

必要経費：合計 1,000 千円

内訳

人件費	:	0 千円 (内容)
資料費	:	10 千円 (内容 文献・資料の購入費)
調査費	:	0 千円 (内容)
旅費交通費	:	450 千円 (内容 旅費交通費、レンタカー代、ガソリン代等)
消耗品費	:	30 千円 (内容 CD-R、資料のコピー代等)
通信費	:	10 千円 (内容 文献・資料の運搬費)
印刷製本費	:	500 千円 (内容 土砂災害学習マップの作成・印刷代)
借料・損料	:	0 千円 (内容)

研究目的

斜面工学研究小委員会で実施してきた『新潟県中越地震』の調査研究【①H17年度重点研究課題「新潟県中越地震の斜面複合災害のモニタリングに関する研究—メカニズム、維持管理、景観、生態系、廃棄物等の総合的斜面工学からの検討—」、②平成16～18年にかけての合計6回の現地調査、③土木学会第二次調査団「斜面災害総合調査サブワーキンググループ」】に基づき、市民や現地を訪れる一般の人が新潟中越地震の現地で、実地に被災箇所を確認して学習することが出来る『土砂災害学習マップ(仮称)』(A1版)を作成することを目的とする。このマップは、役所・駅等での無料配布や、現地での説明会をすることで、市民や現地を訪れる一般の人に広く流布し、防災や環境の意識を高める手助けとしたい。

研究内容説明

新潟県中越地震では尊い人命とともに甚大な被害が発生した。特徴的なことは、有数の地すべり地帯で発生した直下型地震であったため多くの土砂災害が発生したことである。被災後、関係機関によって精力的に復興への取り組みがなされ、様々な対策が行われている。一方では災害の爪跡が修復され、時間の経過と共に災害状況は人々の記憶から薄れていこうとしている。

『土砂災害学習マップ(仮称)』(A1版)は、市民や現地を訪れる一般の人が現地で実地に被災箇所を確認することによって、中越地震災害の記憶を風化させないこと、および我々が生活する国土は脆弱な地盤上にあると共にそれがゆえに豊かな環境の中にあるとの理解を深めることを主な目的とする。災害学習マップの対象は多発した土砂災害等とし、比較的規模の大きな地すべりや崩壊箇所を選定する。

市民や現地を訪れる一般の人にも分かるような形で、A1版の土砂災害学習マップにまとめ、役所や道の駅等で無料配布する。マップの内容は、一日で主な災害箇所を車で観察することができ、地形・地質や土砂災害の概要、被災前後の環境変化、災害廃棄物のこと、それらのコラムを通して、市民や現地を訪れる一般の人にも興味をもって読んでもらえる内容とする。説明する災害として、以下を予定している。

- ・横渡の岩盤すべり、白岩（浦柄）の岩盤崩壊、小栗山の地すべり、
- ・塩谷の地すべり、油夫地区の地すべり、羽黒トンネル坑口の斜面崩壊、
- ・東竹沢の地すべりによる芋川の閉塞、寺野の地すべりによる芋川の閉塞、
- ・濁沢の地すべり、一つ峰地すべり

『土砂災害学習マップ(仮称)』はA1版の大きさとし、表裏に以下の内容について記載しカラー印刷する。ただし、地図のように折りたたみ、携帯に便利のように工夫する。さらに、同じ内容を土木学会のwebにも公開する。

- ・表紙、案内図（交通路）、地形図・位置図（1:50,000）
- ・地質図、土砂災害等の概要説明、地点毎説明、興味を引くコラム、その他